

地域振興・機体活用プロジェクト『空恋』 ソラシドエアと宮崎県高千穂町が包括的連携協定を締結 “宮崎県高千穂町「^{しんと}神都高千穂 タヂカラオ号」”

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2023年4月14日(金)、宮崎県高千穂町と地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。

宮崎県高千穂町をソラシドエアの地域振興・機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』の31番目のパートナーに迎え、2021年7月から約1年8ヶ月の間、宮崎県高千穂町との共同プロジェクト機“宮崎県高千穂町^{しんと}神都高千穂 タヂカラオ号”が就航しました。

宮崎県高千穂町とソラシドエアは、空恋プロジェクトを通し、地域の魅力をご搭乗のお客さまをはじめ、全国の皆さまへPRすると共に交流を深めてまいりました。

このたび“宮崎県高千穂町^{しんと}神都高千穂 タヂカラオ号”が約1年8ヶ月のフライトを終えたことを契機に、包括的連携協定を締結する運びとなりました。ソラシドエアと宮崎県高千穂町は、今後も一層連携を強め、観光や地域産業、地域文化の振興、地域貢献を目的として、エアラインと自治体が相互連携した様々な取り組みを行ってまいります。



高千穂町長 甲斐 宗之 ソラシドエア社長 高橋 宏輔

◆空恋プロジェクト：<https://www.solaseedair.jp/campaign/sorakoi/>

<宮崎県高千穂町のご紹介>

九州山地のほぼ中央部、宮崎県の最北端に位置する高千穂町は、国の天然記念物である高千穂峡の断崖がそびえ、崖から流れ落ちる名瀑「真名井の滝」などが神秘的な風景を作りだしています。また、神話の天孫降臨の地、天岩戸開き神話の舞台として知られ、各地に点在する伝説があり、神話の里としても有名です。そして、最も有名で伝統的なものが国の重要無形文化財でもある「高千穂の夜神楽」。こちらには、日本の神話や伝説の神々が登場し、11月中旬から2月上旬にかけて地域の神楽宿で奉納されます。人気の高い天岩戸が題材の神楽が「高千穂神楽」として高千穂神社で毎晚上演され、いつでも鑑賞ができます。



<これまでの共同取組み内容>

実施内容	実施時期
高千穂町情報誌を機内に搭載	2021年7月～ 2023年4月
機内誌「ソラタネ」の空恋掲示板にプロジェクト機運航開始の記事および高千穂町の魅力を掲載	2021年7-8月号
「初日の出&初詣フライト」にプロジェクト機を起用、関東圏のお客さまを宮崎へ	2022年元日
客室乗務員がタチカラオのデザインされたオリジナルバッジを着用し機内サービスを実施	2022年3月～ 2023年4月
高千穂町がソラシドエア主催のイベント「ソラシドエア Presents グリーンスカイフェスタ」にブースを出店し物産品を販売（於：二子玉川 / 東京都世田谷区）	2022年10月



<機体ラッピング デザイン>

